

2014年1月31日

<報道各位>

株式会社ジェーシービー

JCB、カンボジアのアクレダバンクと加盟店業務で提携

日本発唯一の国際クレジットカードブランド運営主体である株式会社ジェーシービー(本社:東京都港区、代表取締役兼執行役員社長:川西 孝雄)の海外業務を行う子会社、株式会社ジェーシービー・インターナショナル(本社:東京都港区、代表取締役社長:三宮 維光)(以下、総称して「ジェーシービー」)は、カンボジアの商業銀行であるACLEDA Bank Plc. (以下、「アクレダバンク」)と、同国におけるJCB加盟店業務について提携しました。

アクレダバンクは、1月下旬より、順次、同行加盟店でJCBカードの取扱いを開始しており、2014年8月までに、全店(約500店)でJCBカードの利用を可能にする予定です。これにより同国のJCB加盟店数は約1,700店となる予定です、JCB会員様の利便性が向上します。

カンボジアは、世界遺産アンコールワットなどの遺跡をはじめ観光資源が豊富で、2012年の国外からの訪問者数は年間約350万人(前年比24.4%)(※1)と、現地観光局の予測を上回る伸びを記録しています。同国は日本人にとっても人気渡航先のひとつで、日本からの年間渡航者数は約18万人(前年比10.8%増(※2))／同国への訪問者数が多い国ランキング第6位)となっています。特に首都プノンペンでは、日系飲食店やアパレルメーカー等の進出が活発化する見込みで、国外からの訪問者による消費の増加も期待されています。

また、カンボジアは経済成長が著しいメコン経済圏に位置し、2000年代前半以降、毎年6%以上の経済成長率を維持、今後は、近隣諸国を上回る成長も予測されています。現在、人口の約6割が30歳未満の「若年層」(※3)のため今後の労働人口の拡大が見込まれており、将来的な中間所得層の増加が予測されることから、カード発行市場拡大の潜在性も高いと考えられます。

アクレダバンクは、首都プノンペンを本拠地とする大手商業銀行で、近年、クレジットカードやデビットカードの発行や加盟店事業に力を入れています。全国に広がる支店網を活用し、プノンペンのみならず、世界遺産のアンコールワットを有するシェムリアップ、リゾート地のシアヌークビル等でも、ホテルや飲食店を中心に加盟店事業を展開しています。

このたびの提携は、今後のカード利用ニーズの高まりが見込まれるカンボジアで加盟店網を拡大したいジェーシービーと、日本や、他のアジア地域から同国を訪れるJCB会員様のカード売上を取り込みたいアクレダバンクの意向が合致し、実現しました。両社は、今後、JCB会員様向けの加盟店優待についても検討してまいります。

※1 出典:Ministry of Tourism of Cambodia 公式サイト

※2 出典:日本政府観光局(JNTO)公式サイト

※3 出典:United Nations, Department of Economic and Social Affairs公式サイト

以上